

新年あけましておめでとうございます

寒波が到来し寒さが厳しくなる中、昨年から相模原市でも感染拡大している新型インフルエンザの正しい知識と理解をもち、過剰な心配にならぬよう今回は新型インフルエンザへの適切な対応という特集を組みました。また、もうひとつはガングリオンという円型の硬いコブの特集で、なじみのある疾患かと思えます。どうか、今年も皆様が健康でいられるように情報発信していきますのでお役立てください。

発行 社団法人 相模原市医師会



スノーフレック。「雪のかけら」と呼ばれるこの花は別名「スプリングスニ」セン。可憐で清潔感がある花である。

撮影 川野信之

相模原市長 加山 俊夫



新年明けましておめでとうございます。
 本年は、私たちのまち・相模原市が政令指定都市になるという記念すべき年となります。
 今後は、暮らしの豊かさや広域拠点性を向上させ、都市の活力や魅力を更に高めていけるよう、主体的・自立的な都市づくりを進めてまいります。
 さて、わが国は、厳しい経済情勢、地球環境問題、急速な高齢化などの課題に直面し、先行きが不透明で安心した未来が見えにくい状況にあります。
 このような状況の中、本市におきましては、『未来への扉を開く ともにはじめる新しいまちづくり』を本年のテーマとし、『「安心」と「やさしさ」があふれる地域をつくる』を柱の一つに、高齢者を支える地域ケア体制を充実するためのネットワークの構築、感染症の拡大などの健康危機に対応する危機管理体制の構築などに取り組んでまいります。
 また、急病診療事業や各種検診事業、相談事業など、乳幼児から高齢者まで、総合的な保健医療対策に取り組むとともに、市民・医療機関・行政の協力連携を一層進めながら、よりよい地域医療の充実と市民の健康を守る取り組みを継続してまいります。
 市民の皆様にとりまして新しい年が健康で希望に満ち溢れた素晴らしい一年でありますよう、皆様のより一層のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

社団法人 相模原市医師会長 黒沢 恒平



新年明けましておめでとうございます。
 市民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
 さて、昨年4月1日をもって相模原市医師会と津久井郡医師会が統合してひとつの医師会となりました。会員数は608名、神奈川県下でも横浜・川崎に次いで3番目の規模を誇ります。
 私たち相模原市医師会は休日夜間急病診療、各種検診、予防接種や乳幼児健診、訪問看護など地域の医療・保健・福祉に従事しており、全国に先駆けて休日の産婦人科救急を開始するなど統合後の事業につきましても市民の皆様が健康で充実した生活を送れるよう協議を重ね、着実に取り組んでおります。
 昨年は新型インフルエンザの流行が起こり、市民の皆様も不安のことと思います。相模原市と連携・協力を図りつつ引き続き対策を進め、市民の皆様の健康保持に努めてまいりたいと存じます。
 また、本年4月に相模原市が政令指定都市になることで、保健医療サービスに対する需要はますます多様化・複雑化してまいります。
 市民ニーズを的確に把握し、よりきめ細やかな医療が提供できるよう一層努力してまいります。
 市民の皆様が健康で輝かしい佳き年でありませうご祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

